



時をかける備前 星野 聖展

本館6階 美術画廊 [陶芸]

1959年広島県生まれ。会社員生活を経て37才で陶芸家を志し、備前の森陶岳氏に師事。岡山県牛窓町に築いた半地下式窯^{みながき}で作陶。窯詰めの細やかな工夫と長時間焼成により生み出される作品は、鮮やかな緋襷、胡麻や自然釉の流れなど多彩な窯変により、焼き締め陶でありながら華やかな印象を放つ。師譲りの大甕から、壺、香炉、酒器などの小品まで一堂に展覧。

5.27 WED ~ 6.1 MON



「備前 長角大皿」
H29×W58×D7cm

本館6階 美術工芸サロン [彫刻]

異界の彫刻

— 武本大志と仲間たち 妖怪・幻獣展 —

武本大志氏は、1985年兵庫県赤穂郡上郡町生まれ、2015年筑波大学大学院人間総合科学研究科博士後期課程芸術専攻満期退学後、個展や日本彫刻会などで精力的に作品を発表。今展では妖怪や神獣など異界の存在を題材に、妖怪彫刻家の武本氏と仲間による彫刻作品を展示。それぞれの視点で表現された多様な“かたち”を楽しめる作品を展覧。



「牛舎を曳く鬼」
H115×W93×D115cm
乾漆、顔料、木

5.27 WED ~ 6.1 MON

本館6階 美術工芸サロン [ガラス]

藤田 創平 ガラス新作展

— 静謐 —

1992年千葉県生まれ。2016年早稲田大学教育学部国語国文学科卒業。2018年富山ガラス造形研究所造形科卒業。文化勲章受章者のガラス作家である藤田喬平氏を祖父に、同じくガラス作家の藤田潤氏を父に持つ。文学から連想される自然の情景をガラスで表現することを信条に、知性と自然な温かみが同居する作品を制作。本展では「静謐」をテーマにした新作を発表。



「一陣の風」
H41.5×W44.5×D22cm
ガラス

6.3 WED ~ 6.8 MON

本館6階 美術工芸サロン [ガラス]

林 あゆみ展

— 記憶の色彩 —

1987年長野県松本市生まれ。2011年武蔵野美術大学ガラス専攻を卒業後、ロンドンに渡り舞台美術制作に携わる。帰国後にガラス作家の小西 潮氏・江波 富士子氏に師事。四季の移ろいや毎日見上げる空の色など、日々の記憶に残る情景を、細かなガラスのパーツを組み合わせて表現。今展では、飾り瓶や蓋物、ゴブレットなどの新作を展覧。



「空模様—夕暮れ—」
ガラス

6.10 WED ~ 6.15 MON

膠へのまなざし — 再考、そして応答

2010年頃に伝統的な製造技法による三千本膠の生産が終了し、後に教育機関や研究者、企業等の尽力により製品としては復刻したものの、当時多くの日本画家へ大きな衝撃を与え、作品制作にとって「膠」の重要性を見つめ直す契機となった。本展は、内田あぐり氏(『膠を旅する』監修/武蔵野美術大学名誉教授)を監修者として迎え、日本画に限らず、油画、写真を含めさまざまな技法、場所、そして世代の作家による膠を使用した作品を展覧。また、膠の原材料としての姿や現地調査の様子を資料を交えて展示。

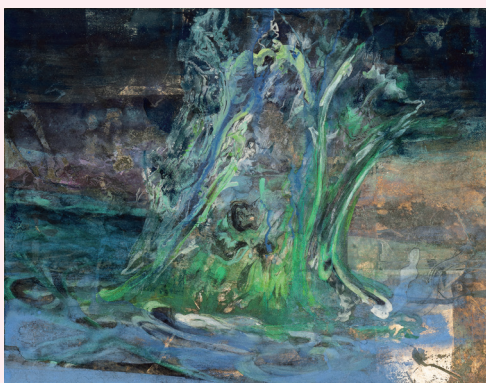
【ギャラリートーク】 出品作家(有志)×大崎哲生氏×内田あぐり氏
6月7日(日)午後3時から

【出品作家】(敬称略・50音順) 赤塚祐二/浅井裕介/荒井経/石崎誠和/内田あぐり/内田亜里/大嶋直哉/岡路貴理/岡村桂三郎/金子朋樹/川崎鈴彦/川嶋渉/菊池玲生/北田克己/喜屋武千恵/熊澤未来子/小林孝亘/小俣花名/斉藤典彦/椎名純/重野克明/杉戸洋/曾谷朝絵/平良優季/滝沢具幸/千坂尚義/永沢碧衣/仁添まりな/濱田千晴/平向功一/町田久美/松岡学/松平莉奈/丸川直人/丸山直文/三沢厚彦/山部杏奈

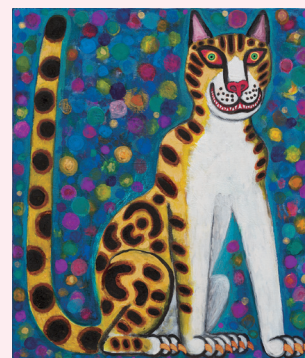
6.3 WED ~ 6.15 MON

本館6階 美術画廊 [絵画]

本館6階 美術画廊X [絵画]



内田 あぐり「みずけむり」
H41×W53cm
岩絵具、顔料、大崎膠、銀箔、黒箔、雲肌麻紙



©Atsuhiko Misawa Courtesy of Nishimura Gallery
三沢 厚彦
「Cat Painting(茶トラ、右向き、Sitting)」
H53.5×W45.8cm
アクリル、岩絵具、顔料、大崎膠、キャンパス

SOCIAL

地域の伝統や
文化を伝え、広げていく



高島屋のサステナブル・アクション

TSUNAGU ACTION

～そっと覗いた、
もうひとつの世界～
磯部 光太郎 展

本館6階 美術画廊【日本画】

「生き物が棲息する場所」をテーマに、四季折々に人間の生活圏に棲息する小さな生き物や植物たちを日本画の古典的な技法で描かれた、美しく魅力的な作品の数々を約30点展覧。

【ギャラリートーク】

6月20日(土)午後3時から

6.17 WED ~ 6.22 MON

「Biotop あまやどり」
H24.3×W33.4cm
岩絵具



**青白磁
樋口 邦春 磁器展**

本館6階 美術工芸サロン【陶芸】

1969年京都府に生まれる。1990年嵯峨美術短期大学陶芸科卒業、岩淵重哉氏の内弟子となる。2008年奈良県河合町に「結び窯」を築窯。2010年第57回「日本伝統工芸展」入選〔入選11回〕。2021年第8回「陶美展」日本陶芸美術協会賞(大賞)。

鳴門海峡の雄大さに心惹かれ、そのダイナミズムや瞬時に変わりゆく青のグラデーション、そしてこころ穏やかにする風を、青白磁による流文や鐶の技法にて表現している。

作家が現在取り組んでいる、立体的な潮流文の表現を中心にした花器や鉢・皿、さらに酒器等約100点を発表予定。

6.17 WED ~ 6.22 MON

「青白磁潮流文鉢」
H21.5×W48.5cm
磁器



色をめぐる旅

本館6階 美術画廊【洋画】

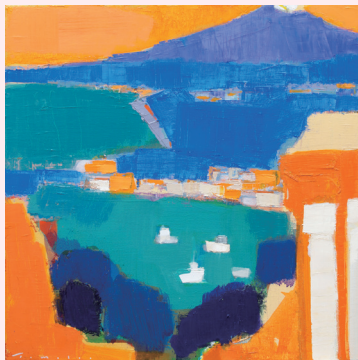
— 大山智子・嶋村有里子・宮田みな美 油彩三人展 —

同世代の作家三人が絵画の大切な要素の一つである「色」にフォーカスを当て、三者三様の色彩を感じられる作品を発表。

第一回目のテーマ「色彩の息吹」では、外に向かうエネルギーの発露や、絵画の生命力が色によって立ち上がる、そんな「はじまり」のイメージを込めて制作。

6.24 WED ~ 6.29 MON

大山 智子
「Taormina/タオルミーナ」
H53×W53cm
油彩、カンヴァス



工藤 茂喜 展

本館6階 美術画廊【木工】

— へぎの仕事 —

1958年東京都生まれ。木口に楔を入れ木目に沿って割り裂く「へぎ」という古代から伝わる技法を用いた作品が代表作。木目に沿って割り裂くため、同じ表情のものは二つと制作できず、自然界が持つ力の面白さを感じられることが何よりの魅力。それぞれの木材の個性と向き合いながら、木の中に潜む美しさを最大限に高めた作品は工藤氏ならではの。

ぴたりと吸い付くように重なる重ね皿、木の中身を削り抜いて造られた箱ものや花器、壁面作品など新作を展覧。

6.17 WED ~ 6.29 MON

「脚付き天へぎ箱」
H16×W36×D19cm
拭漆、紋紗塗り



— ことばのかたち —
藤本 明洋 木彫展

本館6階 美術画廊X【彫刻】

1973年埼玉県生まれ、2003年明星大学日本文化学部生活芸術学科卒業。10年にわたり彫刻家・藪内佐斗司氏のアシスタントを勤める。檜・樟を主体としそれに漆・彩色し、日々の生活のなかであやふやになってしまいがちなしかし無くなることなく、心のなかに積み重なっていくようなあらゆる感情、きつと誰にでもあるそのような感情を人物や動物のモチーフに自分の思い「ことばのかたち」を通して作品を制作。約25点の発表。

6.17 WED ~ 6.22 MON

「繰り返しあらわれることば」
H61×W21×D22cm
檜、漆、彩色



小野 千鶴 展

本館6階 美術工芸サロン【陶芸】

— 練り込みのうつわ —

練り込み技法による作品を発表。練り込みとは、2種類以上の色土を組合せ、マーブルケーキのような唯一無二の模様を作り出す技法。

この練り込みによる断面を「地層」のイメージと重ね、絵や景色を眺めるような時間が生まれることを目指して制作。

本展では、時の移ろいや光による表情の変化を感じられる、鮮やかで透明感のある作品を発表。

6.24 WED ~ 6.29 MON

(左)「練込扁壺」
H24.5×W27×D16cm
陶器

(右)「練込花紋壺」
H25.5×W26×D26cm
陶器



		6月																														
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	
本館6階	美術画廊	星野聖展 山本太郎展	準備会場	膠へのまなざし 一再考、そして応答												準備会場	磯部 光太郎 展			準備会場	色をめぐる旅						準備会場					
	美術画廊X	木野智史展	準備会場	膠へのまなざし 一再考、そして応答												準備会場	工藤 茂喜 展						準備会場	再生 一京が紡ぐものがたり ※7月13日(月)まで						準備会場		
	美術工芸サロン	異界の彫刻	準備会場	藤田 創平 展						準備会場	林 あゆみ 展						準備会場	樋口 邦春 展			準備会場	小野 千鶴 展						準備会場				
2本階	アートアベニュー	夏を楽しむうつわ展																														準備会場

誠に勝手ながら都合により催内容、会期など一部変更または中止となる場合がございます。営業日・営業時間、催内容、会期の最新の情報は高島屋ホームページをご覧ください。



高島屋各店美術画廊・展覧会のご案内はホームページでもご覧いただけます。

高島屋 美術 検索